

【教育実践報告】

平成29年度農場太鼓 活動報告

南 佳典

はじめに

農場太鼓は農学部の有志学生が集う学部公認団体であり、60年を超える歴史を有する。

所属学生数

平成29年度に農場太鼓として活動していた学生は、4年生が8名、3年生が3名、2年生が6名、および1年生が2名であった。学科別では、生物資源学科が12名、生命科学科が5名、生産農学科が2名となっている。

学年別の学生数に表れているとおり、先細りの状況であり、今後新たな学生の確保が急務となっている。学生確保については、4月はじめの新生ガイダンス時にPRを行い、また5月18日に新生ウエルカム演奏会と称したPR活動も行った。

近隣自治体での演奏

平成29年度における広袴夏祭りは、7月29日に町田市立広袴公園で演奏を行う予定であったが、豪雨のため残念ながら中止となった（なお、参加学生数は18名で、5曲を演奏する予定であった）。玉川学園南口商店会夏祭りでは、8月4日に小田急玉川学園前駅横の小田急OX



NEC Networking Banquet 2017

駐車場で演奏を行った。参加学生数は15名で4曲の演奏を行った。

また、農場太鼓所属学生の親族が勤める会社が主催するお祝いの宴席（NEC Networking Banquet 2017、11月9日）での演奏も依頼された。この演奏には13名の学生が参加した。

収穫祭に向けての活動

各自治体の夏祭りの演奏なども活動として重要である



広袴夏祭り（平成28年度）



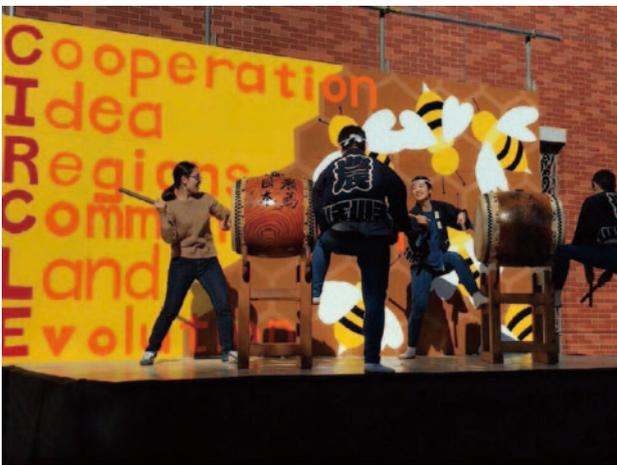
収穫祭 開会式における奉納演奏



収穫祭 昼のステージ



収穫祭 閉会式における4年生による「新玉」



収穫祭 OBとともに「農場」をたたく



収穫祭 神輿のお囃子

が、農場太鼓所属学生はあくまでも農学部収穫祭の実行委員として活動をしている。日々の練習は収穫祭におけるステージ上の演奏および「農場」の演奏に向けてのものである。練習は、週3回放課後に行う通常練習と、収穫祭の直前3週間前に週5回行う集中練習を行っている。収穫祭では、2日間にわたり「昼のステージ」と「農場」での演奏を行った。また、閉会式では神事としての奉納演奏を、閉会式では4年生が集大成として「新玉」と呼ばれる演目を披露した。加えて、両日も神輿の囃子方として太鼓および小物（鳴り物）で協力をした。

農場太鼓の特徴

玉川学園には、和太鼓を様々なイベントで演奏するという伝統が根付いている。その中であって、農場太鼓は収穫を祝う祭における太鼓という位置づけで今日まで活動を続けてきている。すでに農場太鼓卒業生は優に百名を超え、毎年収穫祭初日の夜に「農鼓会」と称するOB会が開催されている。こういったOBが平日に時間を見つけて学生の演奏指導に当たってくれており、その成果が収穫祭の演奏に現れている。また、収穫祭の演奏を聴きに来るOBも多く、彼らは昼のステージで学生からの依頼で演奏することもある。

このようにOBと現役学生との距離が非常に近いのも農場太鼓の魅力の一つとなっていると感じている。